

ご参考資料

2018年1月4日

Vol.129

この数字はなんだ？

ナンバー・ナンダー

米 国

の

2017年12月

の

ISM製造業景況指数

です

59.7

ISM(全米供給管理協会)が3日に発表した2017年12月の製造業景況指数は59.7と、横ばいと市場予想に反して、前月から1.5ポイント上昇しました。ISMが調査した18業種中16業種が拡大を報告しており、米景気の先行きに強気の見方が増えている状況です。

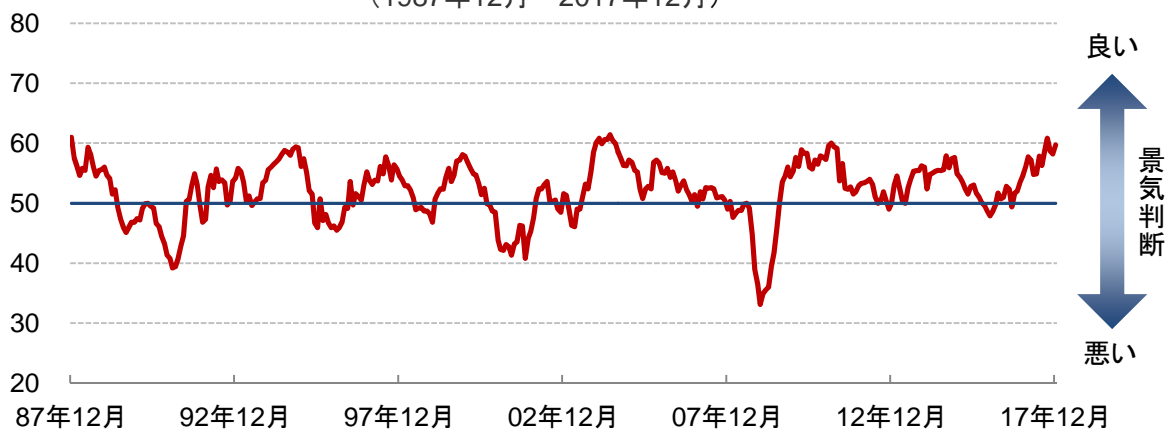
ISM製造業景況指数は、米国の非営利団体である全米供給管理協会が、製造業300社以上の購買担当責任者を対象に行なうアンケート調査(新規受注や生産、雇用など10項目)の結果をもとに作成しています。50を境として、上回ると景気拡大、下回ると景気後退を示唆しています。毎月第1営業日に前月の結果が発表され、主要指標の中でも速報性があることや、企業の景況感を反映し、景気転換の先行指標とされることなどから、市場の注目度の高い指標です。

内訳をみると、重要項目とされる新規受注が69.4と前月から5.4ポイント上昇し、2004年1月以来の高水準になったほか、生産も65.8と前月から1.9ポイント上昇し、2010年5月以来の高水準となりました。一方、雇用は57.0と、前月から2.7ポイント低下したものの、境である50を連続して上回っていることに加え、金融危機前の2007年の水準と比べても高い水準にあることから、製造業の雇用意欲は高いとみられます。

今後、同指数にみられるように、高水準で推移する景況感に加え、昨年末に決定された大型減税の影響などにより、景気に過熱感がでることも考えられます。こうした場合には、昨年と同じ3回が有力視されている、2018年の利上げペースが速まるなど、今後のFRB(米連邦準備制度理事会)の利上げ判断に影響を与えるとの見方も出ています。

ISM製造業景況指数の推移

(1987年12月～2017年12月)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。